

第1期 環境アクションプラン (2026-2029)

2025年10月
白河商工会議所

近年、私たちの暮らしや経済活動は、ごみの増加や水質汚染といった身近な問題から、地球規模の気候変動に至るまで、多岐にわたる環境問題に直面しています。特に、地球温暖化によって引き起こされる異常気象は、自然災害の増加という形で顕在化しており、私たちの生活を脅かす深刻なリスクとなっています。

このような状況を受け、世界は脱炭素社会への移行を加速させています。日本でも、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする（2050年カーボンニュートラル）、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。

このような社会的な潮流の中で、地域経済を支える中小・小規模事業者の皆様には、経営改善や生産性向上への取り組みに、「省エネ」という視点を積極的に加えていくことが期待されています。

そこで、白河商工会議所では、時代の変化に対応するため、「白河商工会議所環境アクションプラン2026-2029」を策定します。このプランに基づき、まずは会議所自らが率先して環境負荷の低減に取り組めます。そして、その経験とノウハウを活かし、会員事業者の皆様が「省エネ」を通じて、持続可能な経営を実現できるよう、積極的に支援してまいります。私たちは、このアクションプランを通じて、白河地域の持続可能な発展に貢献してまいります。

基本方針

「省エネ」は経営改善の第一歩！

会議所と一緒にできるところから始めよう！

- 当所自らが、職員の意識改革をはじめペーパーレスなどできることから取組み、コスト削減と業務効率化につなげる。
- 環境に関連するセミナーの実施やさまざまな情報を発信し、会員の皆さまが省エネに取り組めるように支援します。

実施期間

環境整備委員会がプランの策定・推進・達成目標の検証を行う。期間は2026年度(令和8年度)～2029年度(令和11年度)とし、期中であっても必要に応じてプランの見直しを行う。

事務局with省エネ

(1) ペーパーレスの推進

- コピー用紙の使用枚数を2025年度比10%削減（2025年度：約 枚使用）
- 主たる会議（常議員会・委員会等）のタブレット利用・紙資料削減に取り組む
- メルマガ会員数を会員数の8割を目指す

※会員数 1,123事業所 現時点メルマガ会員数 250件（1年目：3割、2年目：5割、3年目：8割）

- 裏紙使用推進、両面印刷の徹底
- 郵便やFAXより電子メールを優先活用
- 電子媒体で受け付けた文書の紙出し禁止
- 各会議での封筒配付を中止

(2) 電力使用量の削減

- 2025年度の消費電力からの3%削減(初年度)を目指す ※暫定目標のため適宜見直し
- 会館内での不要時消灯の徹底や待機電力の削減
- クールビズ（5月～10月）、ウォームビズの実施（12月～3月）
- 設備交換時期に省エネ性能の高い機器を導入する

事務局with省エネ

(3) 職員の環境意識向上

- 毎月「所内環境整備レポート」を作成し、所内の紙・電力使用量などの見える化に取り組む
- 主催するイベント・懇親会での食品ロスゼロを目指す
- 環境、省エネ関係セミナーへの参加を推奨
- 月末清掃の実施
- レジ袋辞退、水筒使用、使い捨て容器の利用ゼロを推奨
- ゴミの分別の徹底

経営支援with省エネ

- 環境関連セミナー（年度内1回以上）の開催
- 会報、メルマガ等で国・県・市などの補助金制度の情報発信・申請サポート
- 会員事業所のCO2 排出量の実態把握を支援するため「CO2 チェックシート」の活用促進を図る
- 日本商工会議所「地球温暖化対策行動宣言」登録推奨
- 環境に配慮した事業活動を行う会員企業を会報などで紹介
- 環境社会検定（eco 検定）の普及促進